

三寶汽船	淀丸	九月十三日	同 右	グイナマイト一個につき七錢、同荷役賃一個五錢支給
大信汽船	第五大信丸	九月十四日	給料不拂	船夫油差料理人一日三圓、水夫一日一圓五十錢
清水汽船	孟買丸	九月十五日	廻航手當	食料一日一圓
矢吹汽船	晴海丸	九月十五日	航海手當及食料割増	航海手當、水、火、司長四十錢、大丁、船夫、油差三十錢、其他二十五錢、見習十五錢、但香港より内地歸着迄食料割増七圓五十錢、但香港より内地歸着迄食料割増物價高のため左の範圍内に於いて購入困難なる時は不足額は同社負擔
大連汽船	永安丸	九月十六日	食料金増額	給料八月分支給、危険手當七十六圓八十錢支給
昭和海運	天光丸	九月廿四日	給料不拂、危険手當	石夫一名増員
廣海商事	廣祐丸	九月廿五日	増員要求	本給二割日割支給
中川合資	愛徳丸	九月廿六日	危険手當(揮發油)	乗客一名につき一日一錢支給
原商	第一眞盛丸	九月廿七日	衛生賃	細目協定
日本合同工船	出漁船七隻	九月廿八日	休航船の船番人待遇	割増金は神戸出港より入港まで今迄通りつけること、時間外手當は午後六時後一時間二十五錢、ハツチ掃除賃は一航海二十圓、食料は十圓に對し十二ギルダ、是以上は會社負擔
南洋郵船	社船全部	九月三十日	航海手當	八十圓支給
佐藤國汽船	昭和丸	十月三日	危険手當	大連迄の歸國旅費及月給一ヶ月分支給
大信汽船	第五大信丸	十月三日	支那船員機部解雇手當、火夫長の運轉士機關士兼任手當	各三圓宛支給
三寶汽船	垂水丸	十月四日	機關士兼任手當	支給
三井物産	三池山丸	十月十五日	缺員手當	

山本商店	東隆丸	十月十七日	危険物積載手當	一個或は一纏に付き一錢二厘支給、グイナマイト、及火藥の荷揚賃は一個十錢支給
三菱商事	社船全體	十月十九日	食料補給	從來普通船員一人一日に付、北米一十錢、歐洲三十錢を北米四十錢、歐洲一志八片の換算率にて補給
中村組	第五雲海丸	十月二十日	食料補給要求	普通船員全員に對して爲替差額九十六圓支給
川崎汽船	おれこん丸	十月廿二日	救助謝禮金分配	金額一千圓を神農丸の例に依り處理
日之出汽船	長久丸	十月廿三日	船夫最低賃銀不實施	實施、四十七圓を五十二圓に昇給
共立汽船	社船全體	十月卅一日	食料補給	北米百圓に付、四五弗、歐洲一圓に付、二志二片、印度百圓に付、一〇〇留比、海峽殖民地、西貢、實、百、一〇〇圓、西貢、百、九〇圓、北地、實、百、一〇〇圓、蘭頭、東印度、百圓に付、一〇〇圓、フロリンの換算率にて補給する事
日本タンカー	瑞洋丸	十月三日	本員見習代用の場合の給料	給料廿七圓、航海手當五圓、タンカー手當一割二分
小倉石油	社船全部	十月三日	同 右	給料二十七圓、航海手當五圓、タンカー手當一割五分
長井運輸	第六大運丸	十月三日	最低賃銀不實施	實施、全員にて六十八圓昇給
田中商事	平龍丸	十月四日	日支船員交代	交代
第一水産	江ノ浦丸 海龍丸 海王丸	十月卅二日	給料不拂	下船者には未だ殘留者には十月分は残り、十一月分は下船者には未だその月末に支拂ひ、十月分は十二月分全額支給、月乃至一月までに支拂ふこと
加能汽船	順丸	十月十一日	冬期北樺太航路割増要求	航海事務終了の日迄給料の四割増荷役賃は從來の五割増に復舊し、遠洋一區水、火夫長十五圓、水夫、火夫、船夫、油差十一圓、見習七圓五十錢支給
鹽崎汽船	神農丸	十月十一日	航路手當復舊要求	